

## 小中学校のあり方① 小規模校と大規模校について

令和4年2月2日

### 1. 小規模校と大規模校について

西部 小学校 4校 中学校 1校	東部 小学校 4校 中学校 2校
南部 小学校 4校 中学校 2校	

(配置) 人口密集かつ増加傾向地域と人口過疎かつ減少傾向地域とあるなか、小学校及び中学校の配置は適当か。

(規模) 学級数の過大な学校と学級数の過小な学校とがあるが、小学校及び中学校の規模は適当か。35人学級と教室数。教室の広さ。

### 2. 令和4年1月現在住基人口(統計データ) 児童生徒数・学級数(5/1現在)

#### 南部(七宝)

小学校区	総人口	児童数	児童割合	学級数	規模
七宝小学区	8,157人	402人	8.4%	13学級	適正
宝小学区	3,162人	131人	2.7%	6学級	小規模
伊福小学区	7,200人	328人	6.8%	12学級	適正
秋竹小学区	3,276人	141人	2.9%	6学級	小規模
小計	21,795人	1,002人	20.8%	37学級	

#### 西部(美和)

小学校区	総人口	児童数	児童割合	学級数	規模
美和小学区	6,925人	378人	7.9%	12学級	適正
正則小学区	5,688人	304人	6.3%	12学級	適正
篠田小学区	6,221人	358人	7.4%	12学級	適正
美和東小学区	5,408人	312人	6.5%	12学級	適正
小計	24,242人	1,352人	28.1%	48学級	

#### 東部(甚目寺)

小学校区	総人口	児童数	児童割合	学級数	規模
甚目寺小学区	11,588人	566人	11.8%	17学級	適正
甚目寺南小学区	13,932人	791人	16.5%	23学級	大規模
甚目寺東小学区	11,366人	672人	14.0%	20学級	大規模
甚目寺西小学区	5,949人	422人	8.8%	15学級	適正
小計	42,835人	2,451人	51.1%	75学級	
合計	88,872人	4,805人		160学級	

規模：  
 ～ 5学級 過小規模校  
 6学級～11学級 小規模校  
 12学級～18学級 適正規模校  
 19学級～30学級 大規模校  
 31学級～ 過大規模校

### 3. 適正配置及び規模の適正化を図る手法例

#### ○「あま市小中学校の適正配置及び規模の適正化に関する提言書」(H23. 12)

##### 適正配置及び規模の適正化を図る手法

###### ア 学校の統廃合

全市的な立場で適正配置及び規模の適正化に係る基本的な考えを踏まえ、現状から将来の児童生徒数の状況など総合的に考えた場合、適正化の方策として適した手法の一つであると考え。しかし、学区の整合性、地域との関わりなど十分配慮する必要がある。

###### イ 通学区域の再編

通学区域の再編は、適正規模の基準を満たさない学校と隣接の学校の学区を一部見直すことによって学校規模の適正化を図る手法と考える。しかし、学校の位置関係、通学の安全性、行政区や地域への影響などを全市的な立場で十分考慮し、慎重に検討する必要がある。

##### 学校規模に応じた適正化の考え方

###### ア 大規模校

今後の児童生徒数の推移等の動向を見ながら、必要に応じて通学区域の再編等について検討をする。また、通学区域の見直しが困難で過大規模の状態が続くと見込まれる場合は、学校の分離・新設を検討する。

###### イ 小規模校

今後の児童生徒数の推移等の動向を見ながら、望ましい学校規模に向けて統廃合や通学区域の再編等の検討をする。

#### ○学校の統廃合について

##### あま市学校設置条例 平成22年条例第81号

(廃止)

第3条 学校を廃止する場合は、**議会において出席議員の3分の2以上の者の同意**を得なければならない。

### 4. 過去の検討委員会と意見書等

#### ○あま市小中学校適正規模等検討委員会

##### ⑦「あま市小中学校の適正配置及び規模の適正化に関する提言書」(H23. 12)

#### ○甚目寺南小学校の大規模解消に向けた委員会

「甚目寺南小学校・甚目寺小学校地区委員会の意見等」(H25. 12)

#### ○七宝北中学校の小規模解消に向けた委員会

「美和東小学校・七宝北中学校・美和中学校地区委員会の意見等」(H26. 1)

「篠田小学校・美和東小学校・七宝北中学校・美和中学校地区委員会意見書」(H27. 1)

「美和東小・篠田小PTA本部役員一同代案提案書」(H27. 11)

「美和東小学校PTA本部役員一同代案提案書」(H28. 2)

「七宝地区委員会委員 意見書」(H28. 3)

「篠田小学校・美和東小学校・七宝北中学校・美和中学校地区委員会の意見等」(H29. 3)

「七宝北中学校地区委員会の意見書」(H31. 2. 20)

「あま市七宝北中学校適正規模化に向けた通学制度についての内規」(H31. 4. 1)

#### ○甚目寺東小学校の適正な通学距離に向けた委員会

「甚目寺東小学校・正則小学校地区委員会の意見書」(H30. 3. 12)

## 5. 決定済み各種計画

### ①「あま市学校施設長寿命化計画」(令和2年3月)あま市教育委員会

#### 第6章 長寿命化の実施計画

##### 1 改修等の優先順位付けと実施計画

###### (2) 学校施設の規模・配置計画等の方針

現在、学級数が適正規模(12～18学級)未満の小学校は宝小学校、秋竹小学校、正則小学校の計3校で、中学校は七宝北中学校の1校があります。学級数の推計結果を見ると30年後に適正規模未満となる学校は、現在の小規模学校に加えて、美和小学校、甚目寺小学校、七宝中学校で、小学校は5校、中学校が2校が小規模学校となります。

また、全体の学級数は現在から30年間で小学校が34学級、中学校は19学級の減少となり、大幅に減る見込みです。

上記の小規模学校の増加及び学級数の減少から、統廃合の検討が必要と考えられますので、教育委員会を中心とした「あま市立小中学校適正規模等検討委員会」により、検討を進める必要があります。

一方で、小中学校合わせて53教室の空き教室が出来ることから、児童・生徒の教育環境に配慮しつつ、規模の縮小や他の公共施設との複合化・共用化を検討することが望ましいと考えられます。

### ②「あま市公共施設等総合管理計画」(平成29年3月)あま市

#### 6 施設類型ごとの管理に関する基本的な方針

##### (1) 公共建築物

###### 6. 学校及びその他教育施設

###### 現状と課題

- ・全ての学校で耐震改修は終了していますが、建築後30年以上経過した建築物が多く、全般的に老朽化しています。
- ・学校によって、児童生徒数に大きな差があり、余裕教室がある学校においては、放課後子ども教室や児童クラブの活動の場として教室を提供しています。今後は共働き家庭の増加などにより需要の増加が見込まれており、定員を超過するおそれがあります。

###### 今後の方針

- ・「あま市教育大綱」、「あま市教育立市プラン」に基づき、児童・生徒が確かな学力を身につけ、地域を含めて共に学び、楽しむための充実した教育環境を提供します。
- ・学校については、施設整備計画に基づいた適切な工事や修繕を実施することにより、施設の維持管理を図ります。
- ・学校の余裕教室は、放課後子ども教室や児童クラブでの活用を継続、拡大を検討していきます。
- ・学校が地域コミュニティの核となるような、様々な活用方法の検討を行います。
- ・今後の少子化の進展状況により必要に応じて、校区の見直しや統合、配置・規模の適正化など、健全な教育環境を継続的に提供するためのあらゆる検討を行います。

### ③「あま市公共施設再配置計画」(平成31年3月)あま市

#### 2 再配置計画における基本方針

##### (3) 施設類型ごとの基本的な方針

###### カ 学校及びその他教育施設

- ・「あま市教育大綱」、「あま市教育立市プラン」に基づき、児童・生徒が確かな学力を

身に付け、地域を含めて共に学び、楽しむための充実した教育環境を提供します。

- ・学校については、施設整備計画に基づいた適切な工事や修繕を実施することにより、施設の維持管理を図ります。
- ・学校の余裕教室は、放課後子ども教室や児童クラブでの活用を継続、拡大を検討していきます。
- ・学校が地域コミュニティの核となるような、様々な活用方法の検討を行います。
- ・今後の少子化の進展状況により必要に応じて、校区の見直しや統合、配置・規模の適正化など、健全な教育環境を継続的に提供するためのあらゆる検討を行います。

#### 4 公共建築物の二次評価

##### (4) 二次評価結果

中分類	施設名	従たる施設の場合、主たる施設名	地域	建築年度	延床面積(m <sup>2</sup> )	二次評価結果
学校	七宝小学校	—	南部	1979	8,098.00	継続(他施設を複合化)
	宝小学校	—	南部	1974	4,869.00	継続(他施設を統合)
	伊福小学校	—	南部	1974	5,524.59	継続(他施設を複合化)
	秋竹小学校	—	南部	1978	5,325.20	他施設に統合
	美和小学校	—	西部	1974	5,856.25	継続(改修・更新)
	正則小学校	—	西部	1978	4,770.90	継続(改修・更新)
	篠田小学校	—	西部	1980	5,086.00	継続(改修・更新)
	美和東小学校	—	西部	1984	4,994.00	継続(改修・更新)
	甚目寺小学校	—	東部	1970	7,016.40	継続(他施設を複合化)
	甚目寺南小学校	—	東部	1973	6,177.82	継続(改修・更新)
	甚目寺東小学校	—	東部	1975	6,206.00	継続(改修・更新)
	甚目寺西小学校	—	東部	1980	4,648.00	継続(改修・更新)
	七宝中学校	—	南部	1980	8,921.00	継続(改修・更新)
	七宝北中学校	—	南部	1979	6,946.00	継続(改修・更新)
	美和中学校	—	西部	1975	9,971.00	継続(改修・更新)
	甚目寺中学校	—	東部	1967	10,404.00	継続(改修・更新)
甚目寺南中学校	—	東部	1982	9,094.00	継続(改修・更新)	

#### 5 施設毎の再配置計画の策定

##### (5) 学校教育系施設

##### ウ 再配置計画

- ・秋竹小学校を始めとした学級数が標準より少ない学校については、機能の統合を検討します。また、余裕教室の増加が見込まれる学校については、これを解消するために、機能の複合化も検討します。

※面積積算上、秋竹小を解体としておりますが、秋竹小に限定するものではありません。統合については小中一貫校も含め適正規模に配慮します。

##### (ウ) 統廃合、学区再編について

- ・適正規模化に向けた統廃合や学区再編については、前回の「あま市立小中学校の適正配置及び規模の適正化に関する提言書(平成23年12月)」から10年が経過した時期を目途に、小中一貫校も含めた見直しを検討していきます。